

令和7年度 京都府立綾部高等学校東分校（全日制） 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)	
<p>1 3Q+4Sの推進</p> <p>3Q【Quality Teacher】教師としての資質向上 【Quality School】教育内容の充実 【Quality Students】未来を切り拓く人材の育成</p> <p>4S【整理】【整頓】【清潔】【作法】</p> <p>2 A・G・P</p> <p>【Ayabe Global Program】の推進</p> <p>(1) 高い人権意識に基づく教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命と人権を尊重し、多様な価値観を認め合う姿勢の育成 ・農業教育を通じて、自然や命への敬意を持ち、人や地域とつながる姿勢の育成 ・日々の学校生活や地域活動の中で、一人ひとりを大切にす実践的な指導 <p>(2) 自らの生涯を豊かにする力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路を見据え、自ら考え挑戦する力を育む教育環境の整備 ・農業や地域の課題を題材にした探究的な学びを通じ、課題発見・解決力を高める指導の充実 ・生涯にわたって学び続ける姿勢を養い、地域社会での活躍や貢献を目指す人材の育成 <p>(3) 社会に通じる力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業教育を基盤に、コミュニケーション力や協働力を身に付ける教育活動の推進 ・地域社会や産業界との連携を深め、実践的な学びを通じた「自己肯定感」の醸成 ・仲間と共に目標に向かって協働し、挑戦し続ける姿勢を支援する学校づくり <p>(4) 教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心して学び、挑戦できる教育環境の整備と安全管理の徹底 ・家庭や地域、産業界、関係機関と連携した教育活動の推進による課題解決力の向上 ・ICTを活用した校内外の協働体制の強化と、教育活動の発信を通じた理解促進 ・農業教育の専門性を活かした教育活動の成果を積極的に発信し、地域とのつながりを深める広報活動の推進 ・教職員の協働を促進し、働き方改革に基づく効率的かつ質の高い教育活動の実現 		<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「スクリレ」、学校HP、SNS等を活用し、タイムリーな情報発信を行うことができ、教育活動アンケートでも「学校の様子がよくわかる」との回答を得た。 ◇学校案内やキャンパス通信、学校ポスターを作成し、学校の様子を広くアピールすることができた。 ◇全学年で学習用端末を活用した授業が行われるようになり、教職員のICT機器活用能力が向上した。さらに効果的な活用方法について研修を深めることができた。 ◇年度内に進路実現100%を達成することができた。 ◇ケース会議が定着し、学年、教科、カウンセラーと十分な連携を持った上で適応指導会議を開くことができた。 ◇即売会、東祭、ゆらキャンマルシェなど、多くの来場者で盛大に実施することができた。 ◇学校行事において、他学年と協働して取り組む姿勢が見られた。 ◇様々な事業を活用し、外部講師による専門的な授業、体験的・実践的な授業が多く展開できた。DXハイスクールでは、スマート農業機器やデジタル機器の導入ができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆定員割れが続いており、さらに魅力を発信し、受検生の増加につなげたい。 ◆定期考査のあり方の見直し、学力定着・向上につながる授業・評価のあり方を検討していく必要がある。 ◆頭髪・身だしなみ指導に課題がある生徒が一定数いる。粘り強い指導を行い、制服の正しい着こなし等ができるように継続した指導を行う。 ◆3年次後半での進路希望の変更が見られた。2年次2学期頃には進路希望を固めるような指導を進めたい。 ◆農業クラブ活動のさらなる充実を図る。 ◆生徒指導事象や進路変更が見られ、安全で安心して学習に取り組める学習環境づくりを進める必要がある。 	<p>■重点1 魅力ある学校づくりと業務のスリム化の両立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課程間、キャンパス間、分掌間、教科間等の連携、協働を基盤とした学校運営の深化 ・教育DXの促進により、教育活動と事務の効率化を推進 ・教職員の専門性向上を支援する研修体制の充実と、校内外の学び合いの場の創出 <p>■重点2 充実した学びとキャリア教育で未来を切り拓く力を養う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課程、学科、コースの特色を活かした学力向上のためのプログラムの充実 ・探究的な学習活動の一層の推進により、生徒の課題発見・解決力を育成 ・生徒一人ひとりのキャリアビジョンに寄り添った進路支援を展開し、主体的な進路選択を促す <p>■重点3 生徒一人一人の成長を支える温かな指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の尊重とコミュニケーション力を育む教育活動の展開 ・多様性を尊重した支援体制の構築により、すべての生徒が安心して学べる環境を整備 ・規範意識と自律を促す生徒指導を推進し、主体的・協働的な態度を育成 <p>■重点4 協働の喜びを実感する特別活動の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の精神を育む場としての学校行事を充実させ、生徒の成長を促進 ・スポーツ・文化活動やボランティア活動など、多様な学びの機会の提供 ・国際理解・地域貢献活動を通じて、社会・地域とつながる意識を育む <p>■重点5 地域とともに未来を描く開かれた学校の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を強化し、教育活動に地域資源を活用 ・学校の魅力や特色を発信する広報活動を積極的に展開 ・地域社会との協働を通じて生徒募集活動を充実させ、地域に根差した学校づくりを推進 	
評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
業魅力のあるリ学ム校化の両立と	・課程間、キャンパス間、分掌間、教科間等の連携、協働を基盤とした学校運営の深化	課程やキャンパス間で連携・協働し、より効率的で効果的な校務運営を目指す。		
		特色を活かしたカリキュラム編成と教科等横断的な学習により、生徒の学力向上と学習内容の深化を図る。		
		各種行事や取り組みについて、事前調整を丁寧に行う等、関係分掌間の連携を密にし、円滑な実施に努める。		
	・教育DXの促進により、教育活動と事務の効率化を推進	DXハイスクール事業を活用し、農場を中心に施設・設備のスマート化・DX化を図る。		
		校務システムの活用範囲を広げ、学年部と各分掌の情報共有の効率化を図る。		
		スマート化・DX化した施設・設備を活用し、特色化事業等の各種事業を効果的に実施する。		
	・教職員の専門性向上を支援する研修体制の充実と、校内外の学び合いの場の創出	校内外の研修情報を提供し、教職員の指導力向上を支援する。		
		公開授業期間を通じて、教職員間の意見交流の機会を増やし、学校全体で更なる魅力あふれる授業展開を目指す。		
		人権意識や教養向上を目的とした、講演会・研修会の企画・運営に努める。		

<p>充実した学びとキャリア教育で未来を切り拓く力を養う</p>	<p>・各課程、学科、コースの特色を活かした学力向上のためのプログラムの充実</p>	各学科の特色を発揮し、進路実現につながる魅力ある教育活動を展開する。				
		様々な講演会や説明会を通じて、進路に対する関心や意欲を高める。				
		基礎学力保障の取組を通じて、基礎学力の向上・定着を目指す。				
	<p>・探究的な学習活動の一層の推進により、生徒の課題発見・解決力を育成</p>	各学科・専攻のプロジェクト学習や課題研究などで探究活動を充実させ、生徒が主体的に問題解決に取り組む態度を育成する。				
		意欲的に学ぶ力をつけ、高い進路目標を設定・達成できるように支援する。				
		探究的な学習で身に付けた主体的に学ぶ力と課題を解決する力を進路選択や将来設計に活かせるように支援する。				
	<p>・生徒一人ひとりのキャリアビジョンに寄り添った進路支援を展開し、主体的な進路選択を促す</p>	教科担当者会議等で生徒の情報共有を図り、各教科の学びの個別最適化を支援する。				
		希望進路の100%実現に向けて、求人開拓や就職・進学指導を進める。				
		進路希望に応じた情報提供を行い、早期に主体的に進路選択ができるように支援する。				
<p>生徒一人一人の成長を支える温かな指導</p>	<p>・自他の尊重とコミュニケーション力を育む教育活動の展開</p>	互いの人権を尊重し、いじめや暴力を許さない態度を涵養する。また、毎学期いじめアンケートを実施し、結果について会議を行い全体で情報共有をする。				
		保健学習(薬や性教育など)を通して、自他を尊重する大切さを学習する。				
		学校行事やクラスでの取り組みを通して、互いを尊重し、コミュニケーション能力を身につける。				
	<p>・多様性を尊重した支援体制の構築により、すべての生徒が安心して学べる環境を整備</p>	挨拶、端正な身だしなみや整理整頓など基本的生活習慣の大切さをお互いが意識し、生活しようとする意識づけをする。				
		学年・学科・教科・関係機関と適宜連携し、組織的に支援や指導にあたる。				
		規則正しい生活習慣を定着させ、自分で考え行動できる力を身につけさせ、生徒一人一人に応じた進路指導・生活指導を他分掌と連携する。				
	<p>・規範意識と自律を促す生徒指導を推進し、主体的・協働的な態度を育成</p>	多様な視点から自己の言動を振り返らせる言葉がけを行い、社会規範を守ろうとする意欲を高める。全教職員で一致した指導方針で、ねばり強く指導し、学年部や家庭と連携して生徒の指導にあたる。				
		環境を美しく保つ大切さに気付き、率先、協力して清掃活動に取り組む力をつける。				
		学校行事やホームルーム活動を通して協働できる集団作りを目指す。				
<p>協働の喜びを実感する特別活動の創出</p>	<p>・協働の精神を育む場としての学校行事を充実させ、生徒の成長を促進</p>	学校祭やスポーツ大会を円滑に運営し、生徒の主体的な取り組みを通じて、自己肯定感を高める。				
		年間行事計画やHR運営会議で学校行事を適切に配置し、充実した特別活動を展開する。				
		生徒が自主的・主体的に学校行事に取り組むよう支援する。				
	<p>・スポーツ・文化活動やボランティア活動など、多様な学びの機会の提供</p>	部活動の活性化をはかり、昨年度よりも部活動加入率を高める。				
		農業クラブ活動を活発にし、各種大会や競技会での入賞を目指す。				
		生徒会や農業クラブ活動、ボランティア活動等の情報提供を行い、それぞれの活動への積極的な参加を促す。				
	<p>・国際理解・地域貢献活動を通じて、社会・地域とつながる意識を育む</p>	年間指導計画や全体計画に国際理解・地域貢献活動を適切に位置づける。				
		ペットボトルキャップの回収活動や由良川クリーン大作戦への参加を呼びかけ、地域社会に協力しようとする態度を育成する。				
		地域の課題を解決する探究的な学習を展開し、地域に貢献する人材を育成する。				

地域 開かれ たも に未 来の 運を 営描 く	・地域との連携を強化し、教育活動に地域資源を活用	地域との連携活動等、生徒が活躍できる場を多数提供できるように努める。			
		外部人材活用等の地域資源を有効に活用した教育活動を展開する。			
		即売会や東祭など地域連携事業を充実させ、地域にとって魅力ある学校づくりを目指す。			
	・学校の魅力や特色を発信する 広報活動を積極的に展開	在校生や保護者・地域にタイムリーな情報発信に努め、広報活動を充実させる。			
		特色ある教育活動を記録し、学校HP、Instagram等を通じて地域社会に広く発信する。			
		学校案内やキャンパス通信、ポスター、マスメディア等、様々な媒体を用いた広報活動を展開する。			
	・地域社会との協働を通じて生徒募集活動を充実させ、地域に根差した学校づくりを推進	中学校訪問や関係機関との連携を通じて、生徒募集活動を充実させる。			
		説明会や体験セミナー等の生徒募集活動を充実させ、募集定員を上回る受検生を確保する。			
		園児・小中学生に体験活動の場を提供し、農業教育の魅力を発信する。			
学校関係者評価委員会による評価					
次年度に向けた改善の方向性					